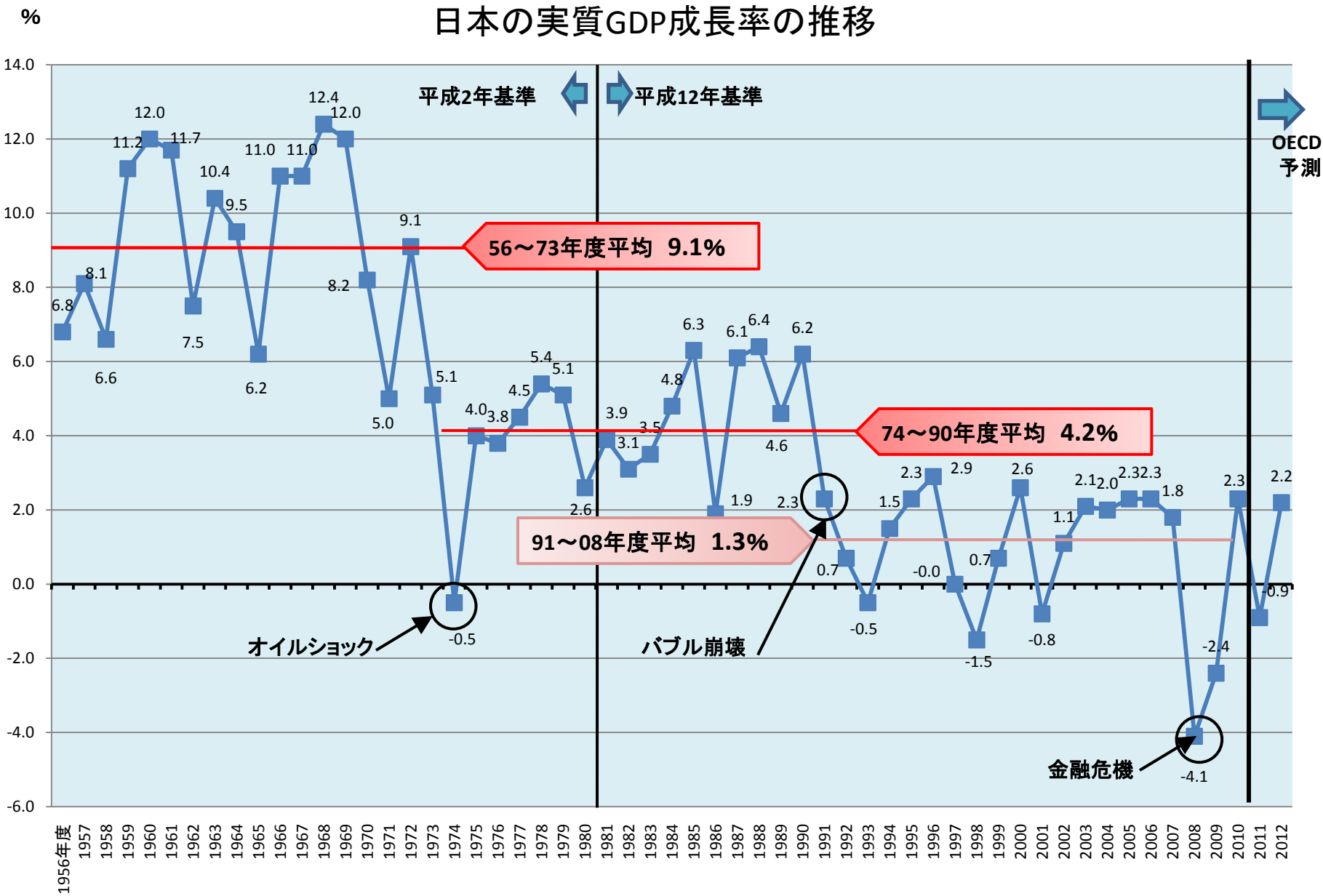


(5)徐々に落ち込んでいる日本の成長率

日本の実質GDP推移を節目ごと(16、7年)に区切って平均値を出すと、その成長率は階段状に落ち込んでいる様子が見て取れる。高度成長期は平均9.1%成長、オイルショック後からバブル期までは平均4.2%成長、そしてバブル後から金融危機までの平均成長率は1.3%にまで落ち込んでいる。



出典: 国民経済計算、OECD資料より東京創研作成